

2010年度

科目名	理科教育法				
担当教員	小谷 卓也				
配当	教福2(5212)			コード	24330
開期	前期	講時	火曜日4限	単位数	2
授業テーマ	理科授業の構成方法についての知識と技能の習得				
目的と概要	学習指導は、生活指導と並び、学校教育において最も基本的かつ重要な教師の役割の一つです。本講義では、理科という教科を通じて、講義形式及び実験(観察)授業の設計の方法、適切な教材配置の方法、授業の評価の方法などについて、学んでいくことを主たる目的としています。				
成績評価法	評価は、毎時間の電子メールによる小レポート、実験レポート、学習指導案の作成及び発表など多方面から総合的に評価します。毎時間必ず出席し、小学校教員として理科を教える能力を習得したいという学習意欲の高い学生の受講を強く望みます。				
テキスト	(前期履修者)新しい理科の教科書親子でひらく科学のとびら 小学4・6年(左巻健男/文一総合出版) (後期履修者)新しい理科の教科書親子でひらく科学のとびら 小学5・6年(左巻健男/文一総合出版)				
参考書	問題集(※授業で毎時間、使用しますので、必ず購入してください) (前期履修者) 毎日の復習くりかえし理科ドリル小学4・6年(教学研究社) (後期履修者) 毎日の復習くりかえし理科ドリル小学3・5年(教学研究社)				
履修に当たっての注意・助言	1.本講義では、出欠、及びレポートの提出にコンピューターの電子メールを使用します。コンピューターの電子メールの取り扱いに詳しくない人は、コンピューター技術基礎等の授業内容をよく復習しておいてください。 2.やむを得ない理由により欠席する、または欠席した際は、必ずその日時と理由をメールに書き、自己申告して下さい。自己申告しない場合は、無断欠席扱いします。なおメールの操作方法等は、授業で説明します。				
講義計画					
受講生の理解度を見ながら授業を進めますので、変更があるかも知れませんが、基本的には下記の要領に従って授業を進めていきます。					
[学習項目] [学習内容]					
第1回 理科授業の構成(1)教科書を読み解きながら、単元構成について学ぶ。					
第2回 理科授業の構成(2)教科書を読み解きながら、単元構成について学ぶ。					
第3回 理科授業の構成(3)授業の過程(導入→展開→まとめ)について学ぶ。					
第4回 理科授業の構成(4)授業過程の中に見られるストーリー性を読み解く。					
第5回 理科授業の構成(5)授業過程における児童の活動を想定する。					
第6回 理科授業の構成(6)授業過程における児童の学習活動の評価の視点を学ぶ。					
第7回 実験(観察)授業の構成(観察)授業の構成の仕方について学びながら、実際に授業を構成する。					
第8回 理科実験(観察)(1)小学校理科程度の実験(観察)を行いながら、科学の方法を習得する。					
第9回 理科実験(観察)(2)小学校理科程度の実験(観察)を行いながら、科学の方法を習得する。					
第10回 実験・観察授業についての省察(観察)授業の構成の仕方について考える。					
第11回 プレゼンテーション(1)自作した理科授業略案の作成と、それについてのプレゼンテーション					
第12回 プレゼンテーション(2)自作した理科授業略案の作成と、それについてのプレゼンテーション					
第13回 プレゼンテーション(3)自作した理科授業略案の作成と、それについてのプレゼンテーション					
第14回 授業構成と発表についての省察(理科授業略案とプレゼンテーションについての総評を行い、新たな授業観を身につける。					
第15回 理科授業構成についてのまとめ全講義内容を振り返りながら、理科授業構成のあり方について自らの見解をまとめる。					